桜美林学園

同窓会だより

2023.9.25発行　　208号

OBERLINER TALK……2
賀寿礼拝を開催しました……4
2023 総会＆リ･ユニオン レポート……6
活躍するオベリンナー……9
全国支部長会議……10
広げようオベリンナーの輪……11
ひろば／NEWS……13
清水安三先生随筆……14
追悼／BOOK／ご逝去された方々……15
INFORMATION／編集後記……16

旧校舎と満開の桜（1950～1960年頃）

おさそい

10月28日（土）・29日（日） 大学祭 町田キャンパス　皆さまのお越しをお待ちしております。
【同窓会提供】●緑茶サービスと桜美林グッズ販売（以徳館1F）　●ほねごり接骨院 整体無料体験会（待望館1F）

OBERLINER TALK

桜美林学園の黎明期に入学されたオベリンナーの
お二人に当時の貴重なお話を伺いました!

インタビュアー：
同窓会副会長　藤本順子（78大英卒）

若林祥子さま
町田市出身
桜美林高等女学校
1949年3月卒業

――若林祥子（よしこ）さま、河合のり子さま、本日はようこそおいでくださいました。桜美林学園は2021年に創立100周年を迎えました。ここ町田に1946年5月開校、同時に高等女学校が設立認可、翌年1947年3月に中学校が設立認可されました。まさに当時在校生でいらしたお二人にいろいろとお話を伺いたいと思います。

若林さまは今年2月25日開催の町田支部のリ・ユニオンに、河合さまは4月の「2023町田さくらまつり」にご参加いただいたことから、今回のご縁に恵まれました。

安三先生の教育でね、心が強くなったんだなって

――若林さまが町田リ・ユニオンに参加されたきっかけは？

若林さま　これが最後かな？　そういう挑戦の気持ちと、同窓のつながりがあること自体がね、楽しいじゃないですか。

――河合さまが復活の丘にいらしてくださったのは偶然ですか？

河合さま　私はもう歩けないのですが、子どもたちが連れて行ってくれてね。桜美林が懐かしくて、懐かしくて泣けちゃったの。

――きっと天国の安三先生ほか皆さまのお導きで、本日を迎えられましたことと感謝したいと思います。

――お二人とも、町田での開校直後に入学されていますが、どのような経緯でのご入学でしたか？

若林さま　両親のすすめです。おかげで横文字に強くなり、卒業後に9カ国を巡るヨーロッパ旅行に参加したときも英語で困ることはありませんでした。

河合さま　やはり親のすすめでした。女子に教育は必要ないなんていう人もいた時代でしたが、当時の桜美林の先生方は本当によくしてくださって。軽井沢へ一週間も連れて行ってくれたりと兄たちが経験したことのないようなことも教えていただきました。

――さて、入学までの経緯を伺ってまいりましたが、ここで当時のお写真を拝見しながら、学生時代をひもといていきたいと思います。

「すぐに祥子さんだってわかったわ」と河合さま。時は経っても、懐かしい面影は鮮明ですね。

広報委員会一同でお二人をお迎えしました。

――河合さま、中学校は共学でしたか？　男女の割合は？

河合さま　男女共学でした。女子のほうが多かったですね。1クラス60数名いたと思います。

若林さま　高等女学校は20数名くらい。制服はなく、それぞれでつくったものを着て、徒歩で通っていました。

河合さま　お弁当を持ってね。

――学校の雰囲気や校舎と寮の様子などを教えていただけますか？

若林さま　校舎の1階は教室で、2階が寮になっていて、先生方も家族でお住まいでした。夏休みに手土産をもって洋裁の先生のところへ行って、洋裁を教わったりしました。今でも服のリフォームなど自分でしています。

河合さま　陸軍の造兵廠の寄宿舎だった木造校舎は、冬はストーブなしでコートを着て授業を受けていましたね。そういうものだと思っていましたから、別段気にせず一生懸命勉強しました。

――続きまして、創立者清水安三先生、郁子先生についてお聞かせください。

河合さま　安三先生は朝礼の時、いつも大風呂敷を広げて、おおらかに学園の将来像を語っておられました。郁子先生はとても真面目な方でしたね。

若林さま　キリスト者でしたから、弱い人を放っておかない方でした。優しかった。小柄な私のことも外で働くのを心配して、先生の事務所で働かせてくださいました。

河合のり子さま

町田市出身
桜美林中学校
1948年3月卒業

温かい雰囲気で家族のような学校でした

――当時安三先生は55歳くらいと思いますが、桜美林設立にあたり「学而事人」を学園のモットーとされました。卒業後のお仕事のことをお聞かせください。

河合さま　私は実家が大きな農家でしたから、農業を。働くことは苦にならなかったですね。

若林さま　先生の事務所ではお客様にお茶を出したり、お手紙を書いたり、購買部でアンパンを売ったりと3年間勤めて、その後定年まで販売の仕事をしました。よい上司に恵まれてね。人との出会いで人生悪くもなるし、よくもなる。私は心が強いって言われてるの。それは、この学校で安三先生に出会って、「望みを失わず」の教育を受けた賜物です。

――本日、学園にいらして、当時の学園の様子と比べてどのような印象を受けましたか？

河合さま　あまりにも素晴らしくなって。安三先生の語ってらした夢が実現して校舎もうんと立派になって。涙が止まりませんでした。

――桜美林で得た一番大きな学び、よかったことは何でしたか？

河合さま　ここで先生方やみんなと本当に楽しく過ごしたこと。それに尽きますね。

――これからの桜美林に期待することは何でしょうか？

若林さま　少子化の世ですけれど、たくさんの生徒さんが桜美林に来てくれるように応援しています。

――これからもお体に気をつけて、楽しい人生となりますようお祈り申し上げます。

インタビューの模様は、同窓会ウェブサイトに全文が掲載されております。ぜひご覧ください。

賀寿礼拝を開催しました

85名の同窓生の皆さまを荊冠堂チャペルにお迎えして感謝の礼拝を捧げました

詳細は
ウェブサイトへ

賀寿礼拝　2023.04.22

色あせない思い出と共に

4月22日、好天に恵まれて賀寿礼拝を執り行い、還暦41名、古希21名、喜寿12名、傘寿11名のご参加をいただきました。荊冠堂での木村牧師のお話や小池理事長、畑山学長、山本同窓会会長のあいさつ、記念撮影の後、お時間のある方は桜カフェに移動していただき、お弁当とお茶で楽しい昔話に花を咲かせました。共に青春を過ごした学び舎自体は様変わりしたとはいえ思い出は色あせず、久しぶりに集まった皆さまと昔に戻って集うことができました。

行事企画委員長　村田　望／88大中卒

還暦

還暦を迎えて

江渡 恵先輩が奏でる「主よ、人の望みの喜びよ」から賀寿礼拝は始まりました。初めての礼拝は高校に入学した今頃の季節だったなあと思いながら聴いた「讃美歌312番」に、心地よい懐かしさがこみ上げてきました。そしてスライドで映し出された卒業写真の校舎の風景は、44年前の1年H組の廊下へ私をタイムスリップさせてくれました。「坊主頭で廊下での休み時間、毎日ホント楽しかった〜」最高の思い出に還ることができた、還暦のお祝いでした。

最後に、礼拝を開催していただいた学園同窓会の皆さまに心から御礼申し上げます。　加賀谷　真／81高校卒

古希を祝って

友人と50数年ぶりにスクールバスで来校すると、立派な校舎に学園の発展を見て驚くとともに、男子バレー部で毎日汗を流した体育館は当時のままでとても懐かしく、在学中を思い出すことができました。かつて清水安三先生が「君たちが卒業し20年・30年後には胸を張って桜美林卒業生といえる立派な学園にします」とおっしゃったことを覚えています。創立100年が経過しても安三イズムが伝承され、進化し続けていると実感しました。賀寿礼拝は、同級生によるパイプオルガンの演奏で始まり、讃美歌で当時にタイムスリップ。町田にて同窓会を開催し、長くも短い楽しい一日を過ごしました。　遠藤眞実／75大経卒

古希

喜寿

喜寿を迎えて

77

仲間と白球を追った高校時代、毎日厳しい練習に耐え3年間通った母校。当時グラウンドの周りに何十本もあった八重桜が春には見事に咲いていたことを思い出しました。練習が終わると神奈中の最終バスで町田方面と八王子方面へと舗装されていなかった町田街道で帰りました。野球部の仲間たちとは長年、年に数回町田や八王子で集まっています。女性も5～6人が参加してくれています。学園の発展には、ただただ驚くばかりで誇りに思います。賀寿祝い事務局の方々、ありがとうございました。　大澤　實／64高校卒

傘寿を祝って

80

10年ぶりのキャンパスはさらに変貌を遂げ、目を見張るばかりでした。礼拝ではパイプオルガンの音色が心に染み、久しぶりの讃美歌はいつの間にか大きな声で歌っておりすっかりオベリンナーに。桜カフェでお弁当をいただきながらの学友たちとの談笑、気分は学生でした。思い出深い復活の丘にも足を延ばし、ご案内いただいた幹事の大沢様に「桜の園日本一」、「復活の丘聖地化」等の事業計画を伺いました。かつて安三先生が語っていらしたたくさんの夢が受け継がれ、今現実のものとなっており喜ばしいことです。本当に楽しい一日でした。　大篭美智子／63短英卒

傘寿

桜カフェにてご歓談

礼拝後はお弁当と歓談のひと時を楽しんでいただきました

より詳細な様子が同窓会ウェブサイトに掲載されていますので、P. 4のQRコードよりそちらもご覧ください。

2023 総会＆リ･ユニオン レポート

6月10日(土)に町田キャンパス･荊冠堂チャペルにて開催しました

詳細は
ウェブサイトへ

2023 総会＆リ･ユニオン　2023.06.10

4年ぶりに完全復活!

完全な形での総会＆リ・ユニオンとして実に4年ぶりの復活となり、同窓会として感慨もひとしおの開催となりました。卒業生の方々と学園関係者を迎えて、総会・成果表彰・コンサート、そしてリ・ユニオンまで、新型コロナウイルス感染症のために何かと制約があった約4年間を乗り越えて、今年はチャペルの席もご友人と隣同士に座っていただくことができ、参加者全員の集合写真も撮ることができました。
桜カフェで行われたリ・ユニオンでは、グループごとにテーブルにつき、ご歓談を楽しんでいただきました。久しぶりに手をつないでの校歌斉唱とエールという桜美林ならではの締めくくりには、参加の方々の笑顔が見られ、幹事一同も喜びのうちに皆さまをお見送りできて嬉しく思いました。

2023年度総会議事・予算・事業計画、2022年度事業報告・一般収支決算報告・会計監査報告などの詳細は、下記QRコード、または同窓会ウェブサイト記事内のリンクからご参照ください。

https://www.obirin.jp/alumni/topics/2023/jimukyoku/20230606.html

2022年度 成果表彰

優秀な成果をあげた団体を表彰し、賞状ならびに報奨金を授与いたしました。

中学校・高等学校 書道部
第46回 学芸書道全国展　優秀団体賞

中学校・高等学校 美術部
第72回 学展　個人賞多数 ／ 第67回 全日本学生美術展　団体賞 努力賞

高等学校 軽音楽部
第15回 東京都高等学校軽音楽コンテスト決勝大会　グランプリ
第9回 全国高等学校軽音楽コンテスト　優秀賞　ほか

大学 弓道部
第60回 伊勢神宮奉納大会 ／ 第70回 全日本学生弓道王座決定戦（男子）出場
第46回 全日本学生弓道女子王座決定戦（女子）準優勝

Report 01　星野富弘さんミニ詩画展

ホールの入り口とチャペルの座席を使っての詩画展は、ひときわ参加の皆さまの目を引きつけました。自然の中の草花がひっそりとしかし力強く、星野さんの詩を引き立てています。詩と絵が切り離すことのできない作品の数々。チャペルに心なしか温かみを与え、卒業生を出迎えているようでした。

星野富弘さん
中学校の体育教師時代、クラブ指導中の事故で頸髄を損傷、手足の自由を失う。入院中、口に筆をくわえて文や絵を描きはじめ、国内外で作品展を開くまでに。現在も創作活動を継続中。作品は富弘美術館で公開されている。

Migiwaさん
クリスチャン家庭に生まれ、幼少から教会の聖歌隊で音楽に親しむ。アメリカで本場のゴスペルを聴き感銘を受け、音楽活動を開始。自身の不登校や引きこもりの経験から生み出された楽曲や、透き通る歌声で神様の愛を伝え、多くの人に勇気と希望を与えている。

Report 02　Migiwaさんスペシャルコンサート

ゴスペルシンガーソングライターMigiwaさんの美しい声がチャペルに響きわたりました。Migiwaさんは星野富弘さんの詩に感銘を受け何曲か作曲もされています。チャペルでのコンサートに相応しい曲の数々に心が洗われました。アメイジング・グレイスなどきれいでゆったりとした高音が天井にまで広がり、総会の後に素敵なひと時を持つことができました。

会長あいさつ 学園同窓生組織の再編に向けて

同窓会会長 山本美浩／79中学･82高校･86大中卒

世界中の同窓生の皆さま、ウィズコロナの時代となり、それぞれの環境でご活躍のこととお慶び申し上げます。 日頃から同窓会活動にご理解、ご協力をいただき心から感謝申し上げます。

学園同窓会と大学校友会

同窓会は今年で67周年を迎えました。設立以来、同窓生向け会報の発行、桜まつり、リ・ユニオン、賀寿礼拝、中高成人式茶話会、全国支部長会議の開催、地域支部の設立、支部リ・ユニオン開催支援、大学祭、中高文化祭支援等の活動を行ってまいりました。

一方、2019年に学園主導で大学校友会が設立されました。短大、大学、大学院の卒業生を中心に在学生、教職員など大学に関わる方々の親睦と在学生の支援、母校の発展を目的にしており、昨年一般社団法人になりました。ホームカミングデーの開催、学生の就職をはじめ、卒業生同士の職域ごとのつながりの構築にも力を入れています。

コロナ禍が続きましたが昨年から対面によるイベントが再開され、同窓生の皆さまから、学園同窓会と大学校友会の違いについて質問を受ける機会が増え、今後の学園同窓生組織を見直す必要性を感じておりました。

同窓生組織再編の必要性

「桜美林学園連合同窓生組織」と「中高同窓生組織」を新設し、「大学校友会」と合わせてアンブレラ型組織への再編について学園、校友会と共に検討してまいりました。新設する「連合同窓生組織」が学園全体の同窓生組織を代表し、重要事項の調整等を担当、「大学校友会」、「中高同窓生組織」は独立性をもって各設置校卒業生対象事業（例えば、年次、学部、学群、ゼミ、クラブなどの事業）を行います。リ・ユニオンをはじめとする学園全体イベント、地域支部・職域別活動、学園同窓会だよりの発行については、「連合同窓生組織」のもとタスクフォースとして「大学校友会」と「中高同窓生組織」が合同で企画、催行、発行いたします。

学園卒業生は今年の3月で12万1千人を超えましたが、日本の出生数は80万人を下回り今後も減少傾向が続くことが予想されます。

これからは学園全体の入学者数と質をいかに確保していくかが大きな課題となり、学園同窓生組織の役割もさらに大きくなることが考えられます。学園に寄り添える組織として、地域、職域、その他さまざまな同窓生ネットワークづくりのためにも、母体となる同窓生組織を一本化することは大きな意義があり、より効率的な運営が可能になると考えています。

これからの発展のために

具体的な組織案、運営方法等を検討し、早い時期に同窓生の皆さまにご提案させていただきます。諸先輩方が築かれてきた67年の同窓会の歴史を、次の世代によりよい形でバトンタッチすることで、学園と同窓会の新しい発展に寄与できるよう、今年度も活動を続けていく所存です。引き続き同窓生の皆さまのご理解、ご協力をお願いいたします。

多くの同窓生の皆さまをはじめ、ご退任された先生方もお越しくださり総勢136名での開催となりました。

リ・ユニオンに参加して　第二部の懇親会は桜カフェにて行いました

機会を見つけてはフラッと帰ってきたくなる母校、桜美林学園。先のパンデミック渦中においてもしばしば訪れては母校の存在に励まされ、奮起し、長い闇夜のような年月を乗り越えることができました。今年は実に4年ぶりとなった「2023 総会 & リ・ユニオン」、全国各地から集結した同窓生の皆さんのエネルギーと桜美林学園愛に触れ、オベリンナーとしての誇りを改めて感じる一日となりました。星野富弘さんの素敵な作品展やゴスペルシンガーソングライターのMigiwaさんの心洗われるコンサート、また皆さまとの楽しい交流会、心尽くしのお時間が心身に染み渡る思いでした。参加させていただけたこと、心から感謝です！

戸田奉美／99大英卒

1972（昭和47）年4月、私は桜美林高校に入学しました。高校、大学と桜美林で過ごした7年間がその後の人生の土台をつくったと実感しています。社会に出て幾多の困難を乗り越えるにあたってはこのころの経験が役立ちました。リ・ユニオンは久しぶりの参加でしたが、星野富弘さんの詩に触れMigiwaさんの賛美に心が洗われる思いでした。学園は大きく変貌しましたが安三先生の教えと、桜美林の伝統は今も生きていると感じる時間を持てました。

吉野幸一／78大商卒

懇親会の折、同席した先輩・後輩とビジネス交流することができました。参加した方々に年齢差はあっても、「同じ環境で過ごした」という、話題の共通項が多い同窓のつながりは、懐かしい話はもちろんのこと、未来志向で語る交流もできると感じました。SNSが広範に活用される今だからこそ、深いコミュニティーが大事にされる時代。交流を広げるひとつの選択肢として今後もこの場を大事にしていきたいと思います。

木村勇也／03大院卒

Migiwaさんのスペシャルコンサートはアメイジング・グレイスから始まり、透き通った美しい歌声に心洗われる思いがしました。

リ・ユニオンでは、夏の全国高校野球選手権大会で優勝したときに活躍された菊池太陽選手のあいさつがありました。ちょうど在学中の出来事で、私自身は甲子園まで応援に行く機会はありませんでしたが、テレビで試合を観戦し応援した当時の記憶がよみがえってきました。今でも懐かしい思い出となっています。

吉田恵子／77高校卒

会の締めくくりは、恒例の手をつなぎ輪になっての校歌斉唱。さらに強くなった絆を感じながらの閉会となりました。

活躍するオベリンナー

人生に出会いと道標を与えてくれた桜美林

大陽日酸(中国)投資有限公司
董事総経理(取締役社長)
佐藤克哉さん(88大中卒)

「お前は浪人しても遊ぶだけ。桜美林を受けろ」国語の教師を夢見た高校時代。バレー部の仲間と過ごす時間が楽しくて一向に受験勉強に身が入らず、浪人かな。と考えていたら、担任の先生にそう言われました。「中文科は古文漢文に強い教師になれる」との魔法のような言葉もあり、推薦試験で入学しました。当時担任は桜美林大学英文科卒で教師になったばかり。桜美林を推した理由の一つだったと思います。現在は母校の校長になられました。

桜美林の華やかな雰囲気に毎日ウキウキしていたことを覚えていますが、中国語の授業についていけず苦労しました。肝心の教職課程も必須科目が多く思え、2年進級時に中国文学コースを選択。国語教師の夢もあっさり諦めたダメダメ学生でした。

大学でもバレー部に入部。現在では男女とも上位リーグでご健闘されていますが、当時は16部中の14部でした。何年もかけて昇格し続けた後輩の皆さんに心から敬意を表します。

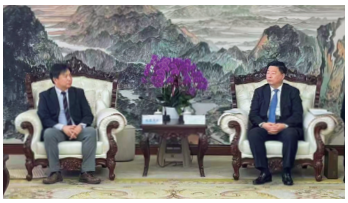
先輩の勧めから始まったキャリア形成

4年生の夏。教員資格もない。中国語も話せない。遅まきながら危機感を覚え、一念発起し1年休学して台湾師範大学に留学しました。中文科なのにニーハオからのスタートでしたが、3か月程で簡単な日常会話を習得。火事場の何とかでしょうか。

留学後半に中文科1年先輩で現在同窓会の会長である山本さんより、日本酸素を受けてみないか？ とお声掛けいただきました。当時、正直全く知らなかったものの、山本さんが勤めていらした会社で、産業ガス国内最大手企業。入社試験を受け無事に内定をいただきました。

現在、日本酸素の中国投資性会社で総経理（社長）職にあり、傘下中国6社の董事長（会長）と4社の董事（取締役）を兼任しています。駐在は2回目で、前回は大連に9年。2人の娘は大連日本人学校の卒業生です。6年の本社勤務を経て今年で上海4年目となります。ダメダメ学生も今は通訳を介さず会議や商談に臨んでいます。私は2人の桜美林の先輩の導きで、人生が決まったようなものですね。それなりに苦労と努力を強いられましたが、今があることに感謝しています。「桜美林」は人生最大の夏休み的感覚でありながら、道標を与えてくれた場所です。

末尾ながら学園の益々のご発展と、皆さまのご多幸を祈念申し上げます。



上／佐藤さん（左）と大連経済開発区主任（右）との会談風景。下／上海工場の様子。

Oberliner News

蔡 兆申（ツァイ ヅァオシェン）さん日本学士院賞受賞

2023.3.13

蔡 兆申さん（70高校卒）が理化学研究所の中村泰信氏と共同研究した『超伝導量子ビットとその量子制御に関する先駆的研究』において、日本学士院賞を受賞しました。この賞は学術上特に優れた論文、著書、そのほかの研究業績に対して毎年贈呈されるものです。蔡さんは受賞にあたって「超伝導量子回路の研究は今世界中で急速に発展しており、この分野の開拓に尽力できたことはとても嬉しく今後の発展を楽しみにしています」と喜びを述べました。両氏は超伝導量子ビットの研究を進めるとともに、応用分野での研究やハイブリッド量子系の研究でも先導的な役割を果たし、卓越した成果を達成し受賞となりました。

■全国支部長会議■

7月1日(土)オンラインで開催された全国支部長会議についてご報告いたします

第6回 全国支部長会議開催報告

7支部8名の各支部代表の方々と同窓会本部幹事9名、学園から2名が参加して、「第6回全国支部長会議」を開催しました。会議では、支部代表者による支部運営や活性のための意見交換、同窓会山本会長より2020年度から2022年度に行った学園支援および学園同窓生組織の再編に向けての説明のほか、学園総務部和田部長より学園現況報告とグラミン日本との取り組みの紹介、募金課小暮氏より「ふるさと桜募金」の紹介がありました。

コロナ禍で自粛していた支部会も昨年後半より徐々に増え、2023年は活発に行われ始めました。まず6月25日に宮城支部、7月8日に兵庫支部が再開。今後の支部会開催予定としては、9月2日に14回目の開催となる横浜支部、10月には広島支部初の広島市内開催、山形支部発会式、11月には沖縄支部、相模原支部、2024年1月には八王子支部が18年ぶりの再開、2月には千葉県支部20回記念を予定しています。このほかにも、町田支部や四国支部発会式が調整中で、新たなスタートやリスタートする楽しみな支部会が盛り沢山となっています。各支部のおおむねの課題は、若い同窓生の参加がなかなか増えないこと、次の世代への引き継ぎなど。同様に本部もこれらの解決の一助になるべく校友会との統合に向け取り組んでいます。来年度の支部長会議には全支部に参加していただき、新たな方向性や課題解決への施策を皆さまと共有できるよう準備してまいりたいと思います。

組織推進委員長　井伊公友／79大商卒

各支部リ･ユニオン開催について ～出席者を増やすための取り組み～

宮城　大森幹事／今年は仙台駅近くで「仙台短編文学賞」大賞受賞の大谷努さんをゲストに開催。今後も同窓生の輪を広げていきたいと考えている。

千葉県　伊東支部長／次回は20回記念、教え子だけでなく保護者にもお声掛けし、学園紹介など楽しい企画で大々的に開催しようと思っている。

横浜　田中支部長・芳賀副支部長（意見発表）／若い会員の参加が増えるよういろいろな企画をもって、縦にも横にも広がっていく支部会を目指したい。

相模原　霧生支部長／継続して参加していただけるよう、年一度の支部会以外にも町田支部と合同イベントを開催するなど活動していきたい。

町田　大沢支部長／桜勉強会を兼ね学園施設での支部会を検討。学園を基軸として同窓生皆で楽しめるたくさんの"場"を作っていきたい。

広島　今川支部長／若い世代の参加促進のため開催地を今までの福山市から広島市に初めて変更する。楽しい企画を模索中、本部のご協力もお願いしたい。

山形　手塚氏（発足代表者）／熱意あるメンバー6名で発会に向け進めている。安三先生の生涯の動画上映など学園の歴史や志を共有しようと考えている。

山形支部 発会式 いよいよ発足します。ぜひお越しください。
日時／10月21日（土）18：00～20：00（受付17：30～）
会場／東京第一ホテル 鶴岡　会費／5,000円

支部会リ･ユニオン 今後の開催予定

初・広島市内で開催！	新支部が発足します	4年ぶりの開催です！	楽しい企画を準備中	18年ぶりの開催です！	祝・20回記念開催！
広島支部	山形支部	沖縄支部	相模原支部	八王子支部	千葉県支部
10月7日	10月21日	11月18日	11月25日	1月27日	2月3日
土曜日	土曜日	土曜日	土曜日	土曜日	土曜日

ご参加をお待ちしています。詳細は同窓会事務局へお問い合わせください。

連日の自然災害の報道に際し 謹んでお見舞い申し上げると共に 被災地域の一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます

広げようオベリンナーの輪

全国に広がる支部会、同窓会、クラブ活動OB会などの活動をお知らせします

詳細は
ウェブサイトへ

支部会

千葉県支部 2023.2.4

第19回 リ・ユニオン開催報告

Restaurant estYにて、第19回リ・ユニオンを開催しました。今回は41名とたくさんの方にご参加いただきました。コロナ禍で3年ぶりの開催となったこともあって大変盛り上がり、あっという間に楽しい時間が過ぎていきました。千葉県支部は2003年に伊東茂治支部長のもと発足しました。来年は千葉県支部20回記念。今からとても楽しみです。皆さまのご参加をお待ちしております。

並木こずえ／93大英卒

支部会

町田支部 2023.2.25

第7回 町田リ・ユニオン開催報告

レンブラントホテル東京町田にて、6年ぶりとなる第7回町田リ・ユニオン「早桜のつどい」を開催しました。学園をはじめ、校友会、同窓会から来賓の皆さまが集いを盛り上げてくださり、隣接支部の方々の応援もいただきました。大学エイサー部の演舞、桜美林にちなんだクイズ大会や空くじなしの抽選会など、ご来場の皆さまと礼拝祈祷から学園歌斉唱まで楽しく、無事に終了することができました。　大沢則夫／65高校・92大中・96大院卒

支部会

宮城支部 2023.6.25

第5回 宮城リ・ユニオン開催報告

「お気楽な会ですから」という幹事の言葉を全く信用せず、孤独を覚悟しつつ、ゲストとしてお越しになる文学賞受賞者の大谷努さんに会いたい一心で初参加。杞憂でした。先輩たちは旧知の間柄のように温かく、心から歓迎してくれました。おかげさまで半世紀前の学園風景等々を懐かしく語り、楽しい時間を過ごすことができました。感謝。

半谷政宣（はんがい）／72大経卒

支部会

兵庫支部 2023.7.8

第5回 兵庫リ・ユニオン開催報告

支部活動が「再出発」しました。第1部の支部総会では、より継続性の高い支部活動が可能となるよう支部会則を制定し、あらためて幹事5人および監査役を選出。第2部の懇親会では、美味しい料理とお酒を楽しみながら、桜美林で過ごした時期や学校種を超えて、思い出話や近況報告に花を咲かせました。今後の支部活動は、支部長に秋山良秀、事務局長に高村麻実が就任。新しい体制で協議を進めてまいります。　秋山良秀／98大中卒

同窓会

1976年度高校卒業 第5回 桜五一会

2022.11.20

今回は同級生89名と伊藤隆吉先生、浜野（旧姓井上）綾子先生、藤崎堅信先生の恩師3名にご出席いただきました。
懐かしい皆さんの元気なお顔を拝見でき、開催してよかったと心から思うとともに再会を喜ぶ友との話は尽きず、時間が瞬く間に過ぎるひと時でした。高校3年時に野球部が夏の甲子園で優勝を果たしたこともあり、私たちの絆は今でも強く、応援エールと校歌斉唱は必須プログラムとなっています。
次回は2028年に迎える古希の長寿祝いも兼ねる会にすることを見据え、会期を3年毎へ変更し、2025年（令和7年）11月の開催予定です。元気なお姿でお会いすることを楽しみにしています。

桜五一会会長　岩本茂生／76高校・80大商卒

同窓会

中文科有志「楽呼の会新年会」開催

2023.01.08

東京・自由が丘にて「楽呼の会新年会」が久しぶりに開催されました。同窓生でもある南雲先生にもご参加いただき、79年度卒から91年度卒という幅広い世代の約20名が集まりました。卒業以来数十年ぶりにお会いする先輩もいれば、初めましての方もいらっしゃいましたが、そこは皆「元・桜の園の若人たち」。お酒が進むにつれ思い出話と近況報告に話が弾み、あっという間に時間が過ぎていきました。その後も二次会、三次会へと流れ、名残を惜しみながらのお開きとなりましたが、まさにこの会の名前の由来・論語の「有朋自遠方来、不亦楽呼」をそのまま表したような会となりました。 高山超夫／91大中卒

OB会

高校野球部　2023.01.22

3年ぶりの開催! 弾む声、明るい笑顔!

高校野球部OB会は平成17年に設立し、会員相互の親睦・交流および高校野球部の応援を目的に活動しています。
今回は3年ぶりに16回目の総会・懇親会を開催、32～80歳という幅広い年代の約80人が集まりました。また、山本美浩同窓会会長、長年にわたり応援いただいている小川康夫さまにもご出席いただき、近況、思い出話などに花を咲かせ、アットホームな雰囲気の中、心温まる時間となりました。
今後の野球部の活躍を期待するとともに、来年度が最後の大会となる片桐幸宏監督を激励する「にわか応援団長」によるエールも送りました。締めは、全員で校歌を大合唱！
今後とも桜美林高等学校野球部ならびに、OB会をよろしくご支援のほどお願いいたします。

OB会会長　菊池太陽／76高校・80大商卒

皆さまからのお便り ひろば

藤田慶喜／元大学教員 （東京都）

元気にしております。海外産業人材育成、国際環境政策研究、日本リユース機構人間環境活性化研究などで汗をかいています。チェコ出身の桜美林留学生が2025年大阪万博館長となり、藤田ゼミ生と激励会と見学旅行をします。昨年『共生感謝録』を上梓しました。大学の繁栄と卒業生の成長が楽しみです。

林　麻紀／03大院卒 （東京都）

大学院修士課程を修了して、20回目の春がやってきました。臨床心理学専修の1期生です。今思えば、恵まれた実習施設、カリキュラム、何より先生方と仲間たちに囲まれていたと感じます。現場に出てからも学びの日々ですが、基礎をつくってくれた桜美林に感謝しています。

多賀元春／82大商卒 （東京都）

大学を卒業して40年以上が経ちますが、いまだに同窓会だよりをお送りいただいていることに感謝申し上げます。冊子を拝見して、我々の時代と学園もずいぶんと変わったものだと感じております。今後の学園の益々のご発展を祈念しております。

丸　優泰／18大院卒 （千葉県）

大学アドミニストレーション研究科で学んだことを追究し続け、新しい職場に巡り合えました。そして新しい職場では、桜美林でお世話になった先生と再会することができました。桜美林によってもたらされた一期一会に心より感謝申し上げます。

中村紀子／80短英卒 （神奈川県）

いつも同窓会だよりをありがとうございます。短大入学式前日の崇貞入寮式は、美しい桜に見守られながらも、緊張し不安でいっぱいでした。先輩（長崎県出身）１人と同級生（群馬・新潟・長野県出身）3人の4人部屋でした。入寮式の夜は、部屋で先輩方がお菓子やジュースで祝ってくださり、不安はすぐ消え笑いに包まれました…。40年前のことですが、桜の季節になると思い出します。結婚を機に淵野辺近辺に住み、好きな英語関係の仕事をしております。桜美林中学へ進学する生徒もいます。多岐にわたり桜美林に感謝の思いを忘れることはありません。

齋藤正美／96大英卒 （滋賀県）

寒かった冬が終わり、春になり忙しくしているうちに桜（ソメイヨシノ）が散ってしまいました。ツツジが咲いているのを見ると、大学のキャンパスの赤（ピンク）のツツジがきれいに咲いていたのを思い出します。よい思い出です。どうもありがとうございました。学生がんばれ！

小堀敦子／92大商卒 （茨城県）

なんと、23年ぶりに桜寮で一年間寝食を共にしたルームメイトと再会しました。結婚式をのぞけば、実に32年ぶりです。楽しかった寮での思い出が次から次へと出てきて、そんなことまで覚えてる？　という内容まで ありました。小林舎監先生にあの桜寮でお会いしたいです。

ひろばへお声をお寄せください

同封のハガキ、同窓会ウェブサイトの掲載申し込みフォーム、右のQRコードから投稿が可能です。

NEWS

多摩アカデミーヒルズに新校舎開設

2023年4月オープン

航空・マネジメント学群のキャンパス、多摩アカデミーヒルズ（多摩キャンパス）に、航空業界を志す学生たちが切磋琢磨して学び合う場として、新たな教室棟〈提撕館（ていせい）〉と寮棟〈自々寮（じじ）〉が整備され、教育環境・施設設備が一新しました。

◀提撕館

創立者清水安三先生が尊敬する儒学者･中江藤樹の教え「提撕警覚（ていせいけいかく）」に由来。教員･学生がお互いを叱咤激励しながら、何度くじけても諦めずに挑戦を続けてほしいという願いが込められています。

自々寮▶

パイロット志望学生の寮として、「自由自治」が命名の由来です。「自らの意思によって自らを統治する」という意味で、パイロットとしての強い責任感と、高貴な精神を育んでほしいという想いが込められています。

清水安三先生随筆

「基督教世界」

大正15年（1926年）5月26日

原文、難しい本漢字は略漢字に、旧仮名遣いは新仮名遣いに改めました。難しい漢字には振り仮名を振り、随時（　）で言葉を補い、句読点を付けました。自働車と欧洲はそのままです。　小林　茂／51高校卒

ビリー・サンデーを聞く（完）

オベリンにて　清水安三

それから米国は、どうだと、叫んで、彼はワシントンの建国の精神、ピュリタンの開拓精神アブラハム・リンコルンのことを語って、米国の偉大なることをうんと喋った。聴衆は、さなくっても、うぬぼれ強い米人のことである。口笛を水雷艇の汽笛のように吹き、足をふみ鳴らしさては椅子の上に飛び上って、米国万歳を叫ぶ青年がある。えらいことである。ビリー・サンデーは一通りの騒ぎが終ると、拍子木の如きもので卓を叩いて静まらせた。彼は、この時のみでなく、このもので卓をよく叩いた。「しかし、かかる偉大なる米国は過去の米国で、今は世界中の一番堕落した国とならんとしている」とやった。群衆は再びあっけに取られて喝采する。アブラハム・リンコルンは黒い奴隷を血を以って解放したが、今や米国は「白い奴隷」で満ちているではないか。そう言って白奴たる密娼の数を上げて、リンコルン当時の奴隷の数と比較する。それから自働車も猫も杓子も用いて、爲めに一年に何万の人が怪我して死ぬ。その死ぬ数を私は忘れたが一々ペラペラ喋って、欧洲大戦の死者数と比較する。又、酒の密醸者の数を上げて、憂国の情禁ずる能わずというところを見せる。

斯かる話をしている間、常に壇上を駆づり廻る。それを、モンキー・ビジネスというのであるが、私は寧ろ、動物園の獅子のように思うた。歯をむき出して、あちらに行きこちらに行きその忙しいこと、聴衆の一人として気の毒な程であった。彼が「偉大なるは過去の米国で現在の世界の最劣等国だ」と叫んだ時に、卓の上に飛び上り、その足つぎにした椅子を左右前後の宙に振り廻し出した時は、二万の聴衆は「エイヤー」と日本語のお伊勢詣りのかけ声見たいな奇妙な声を出して叫んだ。終ったのが十時で、彼は二時間きっちり語った。

最後の一五分は身の上話であって、彼がベースボールをやっている時に彼の妻はよく祈った。すると彼は妻に、日曜日丈けは祈らないで呉れ、日曜日は自分が野球して居るのであるから、神はこの日は自分の家には居らぬといった。このことを喋るときにサンデーは妻の方を向いて「ベルそうだったね」とやった。すると講壇の後にクワイアーと共に居る夫人は軽くうなづいて拍手した。

ある時シカゴに行って、試合に行く途中、バンビュレン・ストリートを通りかかった時に、路傍の一小教会から、讃美歌が聞える。

〃I need Thee（恵み深き主のほか）〃という
その歌は已に亡くなった
母がよく歌った讃美歌だ。
自分は立ち止って、
亡き母のことを思うた。

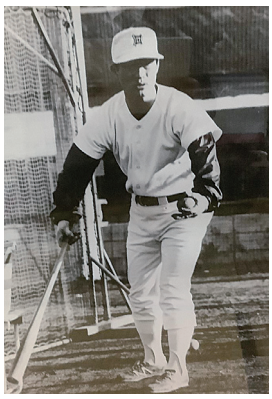
此の時、恰も木村（清松）先生が「母は口でなめた糸で、自ら作って俺に着物を呉れた」――といってお泣きになる時のシーンが髣髴としてサンデーに現われて居る。ビリー・サンデー先生日本の木村（清松）先生を真似しているなと思うた。この時、自分は野球場へ行って「俺はもう今日限りベースボールは止めだ。マザーが止せというんだ。」彼はこういい放って、沢山の収入になる野球事業を止めて、伝道者を希望して勉強し出したのである。

彼がいうことには、「わしの友人の何某も、それから何某も野球を止めず、大酒飲んで、一人は酔うたまま自働車にひき殺され、一人は今猶半身不随になって、生きたまま死んで居る。しかるに自分は……」というや否や、再び卓上に飛び上り、それを感謝に耐えぬといい、右手を上の方に上げ「グッド、ナイト我が老友クリブランナーズ」と言い乍ら、日本の活動弁士がやるように、右手を下におろしお尻を後方に出し、身体を前にややかがめた。

会場から出るのに約二十分かかった。遖は米人で混雑することなく、ゆるゆるお静かに解散した。私は、それから五十人乗の乗合自働車に乗ってオベリンに帰った。帰るとワイフが、「どうでした。感動する所ありましたか」と問うたので「うん面白かった。土産話が一つふえた訳さ」

（終り）

追悼　濱田宏美監督ご逝去



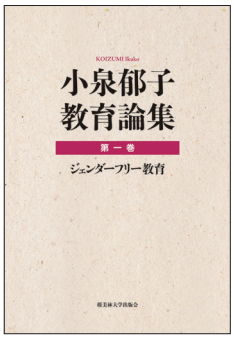
濱田宏美先生が3月30日にご逝去されました（享年76）。ここに謹んでお悔やみを申し上げます。
濱田先生は桜美林高等学校野球部の監督を昭和44年から55年まで務められ、甲子園出場を4度成し遂げられました。
特に、昭和51年夏の大会の初出場・初優勝という功績は、今でも語り継がれています。
濱田先生は自ら打って投げて走って見本を示す実践的な指導を行うとともに、積極性を大事にする監督でした。また、生活面にも目を配り、厳しい指導を受けた部員たちもいました。プロ野球でも通用するほどのノックの達人であられた、濱田先生の在りし日のお姿を偲び、心からご冥福をお祈りいたします。　　桜美林高等学校野球部OB会会長　菊池太陽

上／シートノック中の濱田監督。下／優勝旗を囲んで。左から濱田監督、清水安三先生、橋本校長、佐藤部長（1976年）。

BOOK『小泉郁子教育論集』

2023年3月から全5巻順次発刊

崇貞学園・桜美林学園の発展に生涯を捧げた清水（旧姓小泉）郁子先生は、1910年代から女性の地位向上を目指し、「新しき女性」像を追求するリーダーとして活発に活動を行い、後年は教育実践者として、また妻として公私共に安三先生を終生支えました。桜美林大学出版会では、郁子先生が生涯を通じて発表した著書と論説を中心に選定・編集し、『小泉郁子教育論集』（全5巻）を順次発刊することになりました。
2023年3月16日刊行の第1巻は、『男女共学論』（1931年）と関連する論説を集め、郁子先生の教育思想の中心となる「男女共学」問題にスポットを当てています。

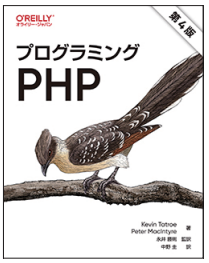


小泉郁子教育論集
第一巻
ジェンダーフリー教育
論創社／4,180円（税込）
ISBN：978-4-8460-2247-1

BOOK『プログラミングPHP（第4版）』

2023年4月発刊

中野 圭さん（91高校卒）が、コンピュータ解説書などで有名なオライリー社から出版された洋書『プログラミングPHP』の翻訳を担当され、2023年4月に改訂第4版が発刊されました。ウェブアプリケーションの開発言語、PHPの基本から実践までを解説した実用書です。インターネットを中心にさまざまなタイミングで事典としても活用できるものとなっています。



プログラミングPHP（第4版）
Kevin Tatroe・
Peter MacIntyre著
永井勝則監訳　中野 圭訳
オライリー・ジャパン／
4,290円（税込）
ISBN：978-4-8144-0027-0

ご逝去された方々　謹んでご冥福をお祈りいたします。

卒業生は敬称略（　）内は旧姓〔　〕内は逝去年月

瀬沼克彰名誉教授 …… 〔23.07〕
濱田宏美元高校野球部監督 …… 〔23.03〕
鈴木（坂口）玲子先生 …… 58短家卒〔23.02〕
田中（多田）邦子 …… 56高校卒〔21.06〕
戸田英夫 …… 72高校卒〔23.02〕
林　義明 …… 83大商卒〔23.03〕
佐藤正幸 …… 77大商卒〔21.06〕
前田（会田）寛美 …… 69短家卒〔22.10〕
渡辺正勝 …… 53中学卒〔22.09〕
萩原富美男 …… 73高校卒
浅谷（咲間）玲子 …… 56高校卒〔23.01〕
新井賢二 …… 75大経卒〔23.04〕
鎌田祐二 …… 80大商卒
山本（田中）摂子 …… 78短家卒
菊地秀幸 …… 76高校卒
水谷直紀 …… 81大英卒
舞田麻子 …… 87高校卒〔23.01〕
谷合富夫 …… 70大英卒〔22.11〕
吉川　保 …… 58高校卒〔23.02〕
竹内　猛 …… 60高校卒〔21.03〕
桑沢千織 …… 80短英卒〔20.05〕
黄木康浩 …… 81高校卒〔22.10〕
杉井　弘 …… 50中学卒〔23.04〕
石渡（野渡）さち子 …… 87大中卒〔19.11〕
矢野磨花 …… 66高校卒〔23.04〕
川井　明 …… 52高校卒〔23.05〕

INFORMATION

これからの行事予定

2023

❇印は同窓会主催

広島 リ·ユニオン❇	10月 7日(土)
山形支部 発会式❇	10月21日(土)
大学祭(町田キャンパス)	10月28日(土)·29日(日)
高校剣道部創部60周年記念式典	10月29日(日)
大学祭(新宿キャンパス)	11月 4日(土)· 5日(日)
沖縄 リ·ユニオン❇	11月18日(土)
相模原 リ·ユニオン❇	11月25日(土)

2024

20歳を祝う会·茶話会❇	1月 8日(月·祝)
八王子 リ·ユニオン❇	1月27日(土)
千葉県 リ·ユニオン❇	2月 3日(土)

※上記の行事予定の詳細はそれぞれのウェブサイトをご確認ください。

個人情報の取り扱いについて

同窓会では個人情報につきまして、学園のプライバシーポリシーに基づき厳重な管理をしております。過去に発行された名簿の保管には充分ご注意いただき、第三者への譲渡や販売はお控えください。またDMや電話から、その企業へ名簿を提供した業者が特定できた場合、お申し出により名簿記載事項の削除を求めることができます。ご不明な点は事務局までお問い合わせください。

同窓会Facebookのご案内

桜美林学園同窓会のFacebookでは、同窓会や学園の最新情報、在校生・卒業生の活躍などをお伝えしております。詳細はFacebookのウェブサイトから「**桜美林学園同窓会**」で検索いただくか、下記QRコードよりアクセスをお願いいたします。

フォロー、お待ちしております！

@Obirin.alumni.official

事務局からのお知らせ

転居など、個人情報の変更手続きは、同窓会ウェブサイトの専用フォームをご活用ください。ウェブサイトをご覧になれない方は、桜美林学園同窓会事務局までご連絡ください。

お電話でのお問い合わせ／☎042-797-1632（平日9:00～16:00）
ファックスでのお問い合わせ／☎042-797-3897
メールでのお問い合わせ／alumni@obirin.ac.jp
ウェブサイト／https://www.obirin.jp/alumni

〈桜の園日本一計画〉へのご寄付について

学園創立100周年記念事業として、多くのご賛同をいただき感謝申し上げます。2023年6月末までにご寄付いただいた方々とメッセージを掲載いたします。また、〈桜の園日本一計画〉のご案内と桜植樹の進捗状況は、同窓会ウェブサイトに掲載しています。右記QRコードよりアクセスください。

ご寄付いただいた皆さま　敬称略

町田支部(町田さくらまつり参加時の募金)……11,153円
渡辺雅人／78大経卒……10,000円
中野美津子／86高校卒……10,000円
木林澪子／63短家卒……10,000円
2023年度賀寿礼拝出席者より……23,618円
松崎千絵／00短生卒、三井園子／98高校卒…10,000円

MESSAGE　敬称略

渡辺雅人／78大経卒　創立100周年おめでとうございます。また100周年にちなんだ同窓会企画「桜の園日本一計画」は、桜美林たらしめるすばらしい企画だと思います。桜の園日本一計画に拍手喝采です。これでこそ文字通り、桜美林が桜美林たる所以になります。日本一の桜の美しい学園になってください。

感謝の誌代　敬称略

田中一雄／75大商卒……10,000円

編集後記

新型コロナの感染症法上の位置付けが5月8日に5類感染症に移行し、イベントの開催制限や施設の使用制限等々の取り組みが廃止され行動制限がなくなりました。こうした中で、2023 総会＆リ・ユニオンは4年ぶりに対面で開催することができました。当日は天候にも恵まれ、集われた皆さんの輝く笑顔を学園創立者・清水安三先生にも見守っていただいているような気がしてなりませんでした。私は4年前、桜美林大学を卒業後33年目にして初めて総会＆リ・ユニオンに参加。世代を超えての交流に感動し、オベリンナーの一員としての誇りを持つことができました。これから総会＆リ・ユニオンには毎年参加しようと思っていた矢先のコロナ禍で、この3年間は開催が見送られ、それだけに今回の開催の喜びはひとしおです。この間、私は同窓会の幹事になり、広報委員として「同窓会だより」の発行にも携わるようになりました。活動の中で「オベリンナーの絆はどこよりも固く」を実感する日々です。今後も皆さんに喜ばれる「同窓会だより」にしていけるよう努力・精進してまいります。　広報副委員長　石川和広

桜美林学園 同窓会だより 208号　発行日:2023年9月25日　発行:桜美林学園同窓会　〒194-0294 東京都町田市常盤町3758　☎042-797-1632

※掲載されている卒業年は、全て年度表記としております。　※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。